

8月10日(金)発行

昨日の感動を  
お届けします!!

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



## ラフマニノフの歌心と ピアニスティックな閃光

【8/9(木)日本フィルハーモニー交響楽団】

フェスタサマーミュージックも終盤にさしかかった8月9日、日本フィルとピアニスト反田恭平による北歐・ロシアプロでは大入袋が出た。チケットは早々に完売したと聞く。超満員の聴衆で埋め尽くされたミュゼは、親密で温かい空気感に満ちていた。指揮は藤岡幸夫、コンサートマスターは千葉清加。日本初演となるラフマニノフの『ピアノ協奏曲第5番』は、『交響曲第2番』をピアノ協奏曲に編曲したもので、冒頭からラフマニノフ特有の大地の豊饒さを感じさせるサウンドがホールに響き渡つ

た。日本フィルは桂冠指揮者アレクサンドル・ラザレフとともに長年ロシア音楽の真髄を追究してきただけに、ラフマニノフでも格別いい音を出す。

反田はデビュー当時から愛用していた1912年版のニューヨーク・スタインウェイで、華麗で荘厳なソロを披露。デニス・マツエフの演奏を聴いてこの曲の虜になったという反田だが、怪力(?)マツエフに負けない渾身の熱演で、オケの爆音と格闘していた。ラフマニノフの歌心とピアニスティックな閃光が飛び散り、各楽章のソロ部分では宗教的ともいえる深

遠な表現を聴かせた。ピアニストの優しさ、繊細さ、誠実さを伝える貴重な演奏だった。トータルで約50分。

後半のシベリウス『交響曲第1番』は、「美メロ」つながりか。次々と湧出するメロディアスなモチーフがロシアとバルト海をはさんだ「ご近所」のフィンランドの北の風情を伝えてきた。マエストロ藤岡のおおらかな指揮が、オケからヴィヴィッドな反応を引き出し、ミュゼの音響と日本フィルの相性の良さに驚いた新鮮なコンサートだった。

(音楽ライター 小田島久恵)



終演後のツーショット!  
反田恭平(ピアノ) & 藤岡幸夫(指揮)

### 来場者の声

公開リハーサルから楽しませていただきました。大好きな反田さんと昔から応援している日本フィルのラフマニノフ、何と5番協奏曲!日本初演の演奏を聴くことができ感激しました。友の会に入って良かったです。(会社員・ゆりりん) / 日本初演、反田さんのラフマニノフ5番、名演でした。特に第1楽章。シベリウス1番なかなか聴く機会がなかったので、とても興味深かったです。熱い(ラフマニノフ)と冷たい(シベリウス)両方楽しめて、コンビネーションがGood! (Mimi・50代) / 反田君効果で満員の観客に日本フィルも燃えて、熱い演奏が聞けてとても満足です(さいたままぎ・50代) / 初めてづくしの演奏会でした。仕事帰りの疲れがスカッとふっとぶコンサート、ラフマニノフの重厚な響きと、シベリウスのスパーンと突き抜ける光のような音楽に、目が覚める思いでした。ありがとございました。明日からもがんばれそう!(てくまくまやこん・50代) / ラフマニノフはフィナーレが確かにピアノ・コンチェルトだと感じました。真夏のシベリウスは良い。アンコールがとても良かった。(50代・おけらマン)



**NEXT!**  
サマーミュージック  
明日のチケット情報

イツ・ア・ピアノワールド  
~音楽を肌で体感しよう!~

8/11(土祝) 11:00開演

ミュゼ川崎シンフォニーホール

ピアノ/小川典子

- ショパン：華麗なるワルツ
- ベツェション=ベリエル：「フレースエーの花々」から
- 山根明季子：イルミネイテッド・ベイビー
- ドビュッシー：アラベスク第1番
- エルガー：威風堂々第1番
- ショパン：アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ

計200枚程度  
大人1,500円  
子ども500円(4歳~中学生)

◎ 電話予約：なし  
◎ 当日券カウンター/10:00~販売

こども  
フェスタ  
2018  
4歳から入場OK!

鈴木雅明パイプオルガン・リサイタル  
~真夏のバッハIII~

8/11(土祝) 18:00開演

ミュゼ川崎シンフォニーホール

パイプオルガン/鈴木雅明  
ソプラノ/澤江衣里

~オール・J.S. バッハ・プログラム~

- トッカータとフーガ BWV 565
- カンタータ「神よ、人は汝をひそかにたたう」から BWV120/4
- 前奏曲とフーガ BWV 548 他

計60枚程度  
全席指定2,500円  
U25:1,000円(小学生~25歳)  
※未就学児は入場できません

◎ 電話予約：なし  
◎ 4階カウンター/10:00~16:30販売  
◎ 当日券カウンター/17:00~販売  
※16:30~17:00の間は販売を休止します

# ラヴェルの協奏曲に魅せられて、ピアニストの道へ

「第4回 MUZAソリスト・オーディション」で選ばれた、ピアノ：黒沼香恋さんをご紹介します。

2013年度からスタートした、「MUZAソリスト・オーディション」。ミュージックが一年を通じて行なっている「若手演奏家支援事業」のひとつで、オーディション合格者には東京交響楽団と協奏曲で共演する機会が与えられます。今年のサマーミュージックファイナルコンサートに登場するテューバの田村優弥さんも、2016年度のオーディションで選ばれました。

2017年度のオーディションはピアノで実施。厳正なる審査の結果選ばれたのは、現在東京藝術大学2年生の黒沼香恋さん(写真)。

本日8月10日、昼のミニコンサートにも管楽とのピアノ五重奏で登場しました。他にも今年9月22日(土)に開催される小川典子さんと青柳いづみさんのプレレクチャー後、17:00開演でピアノ・ソロのミニコンサートを開催予定です。

オーディションではモーツァルトの協奏曲を演奏した黒沼さん。実はフランスものが大好きで、ラヴェルのピアノ協奏曲を聴き、「この曲を演奏したい!」とピアニストを目指す決心をされたそう。この運命の曲で東京交響楽団との共演が叶うこととなりました。

協奏曲のソリストとして登場されるのは2019年度の予定です。どうぞご期待ください!

(事業課 も)

## ◆ミニコンサート

【日時】9/22(土)17:00開演

【会場】ミュージック川崎 4F 市民交流室

【曲目】ドビュッシー：ベルガマスク組曲、ラヴェル：夜のガスパール 他

【料金】入場無料(限定100席)

【申込】class@kawasaki-sym-hall.jp  
へ①代表者名②人数③住所を明記の上、お申し込みください。申込多数の場合は抽選し、当選者にのみ9/4(火)以降にご招待ハガキをお送りします。



ミュージック公式インスタもフォローしてね!

## パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!!



## 盛岡冷麺、名店の味を気軽に

今年の尋常でない暑さを乗り越えるためにはまず栄養のある物をたくさん食べて、ということで、今日はラゾーナ川崎プラザ1Fフードコートにある「ぴよんぴよん舎」で盛岡冷麺ミニステーキ丼セットを注文。

スープの辛さは4段階から選べるのでその日の体調、お好みで。今日は夏バテ気味の胃に活を入れるために激辛を選び、まず一口。やや酸味の効いたスープが、半透明で歯応え十分な中太ストレート麺を喉の奥まで流し込む。

岩手ブランド牛のミニステーキは程良い柔らかさで、肉の旨味がじわーっと広がり、冷麺と交互にいただければあっという間に完食。

お店は岩手山を望む盛岡市発祥。冷麺を食べながら北上川を渡る涼風に思いをはせてみてはいかが? (経営管理課 く)

### ぴよんぴよん舎(盛岡冷麺)

▶リスト P.19 掲載

▶ラゾーナ川崎プラザ 1F

▶パートナーショップ特典

1ドリンクサービス  
(ソフトドリンク)

Instagram

ミュージック川崎シンフォニーホール

**依田泰幸の休日**

(東京ニューシティ管/首席トランペット奏者)

♡♡♡

依田泰幸「トランペット吹きの休日」のイメージそのままに、休日も練習に費やす事が多いですね。意外にも?ラッパ吹きは、繊細で心配性な人種なんです! (笑) 仕事中は長時間おとなしく座っているので、健康維持の為、たまにはゴルフに出かけたりもします。自然の中で過ごす時間は最高のリフレッシュになります。

#アーティストの休日 #サマーミュージック



友の会  
キャンペーン  
実施中

### 新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

### ミュージック友の会

◎年会費3,000円  
・チケット割引  
・先行予約  
など、お得な6つの特典あり!  
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

### 現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト  
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter : @summer\_muza



Facebook : @kawasaki.sym.hall



Instagram : @muzakawasaki

昨日の感動をお届けします!!

日刊サマーミュージック  
Hobo Nikkan Summer Muza

スタツフ日誌

サマーミュージックもいよいよフィナーレが近づいてまいりました。真夏の暑い中、今年もたくさんのご来場、まことにありがとうございます。

フェスタサマーミュージックはミュージック川崎シンフォニーホールのオープン翌年から開催しており、今年で14回目になります。

この音楽祭は、年々ご来場いただくお客様が増え、川崎の夏の風物詩としてもすっかり定着しているのではないかと感じています。

ご来場いただいているお客様、サマーミュージックを支えてくださっている企業、団体の皆様、そして連日素晴らしい演奏を披露してくださっている音楽家の皆様、スタッフを代表して感謝の気持ちを表したいと思います。

サマーミュージックが終わると気が付けば秋風が...というのが毎年のパターン。そして秋の芸術シーズンに向けて、ミュージックは突き進みます。

サマーミュージックが終わってからも、充実した企画を用意しておりますので、ぜひミュージックの公演にご注目ください。

(事業部長 竹内)